



狛江市コミュニティ・スクール
イメージキャラクター
コミュにゃん

コミュニティ・スクール通信 NO.9

～ スクール・コミュニティ～

発行/令和5年2月

発行者/学校教育課

担当/地域学校連携支援マネージャー石谷

狛江市におけるコミュニティ・スクール（CS）の周知と推進を図るため、「コミュニティ・スクール通信」と題して、分かりやすくお知らせします。

スクール・コミュニティとは

前号で、「五小おやじの会は、自分たちの取組みを狛江市全校のおやじの会に伝えていこうと考えています。」ということをお伝えしました。このようなコミュニティ・スクールの取組みが、関係団体同士でつながっていくことを、先進地区では「スクール・コミュニティ」と言っています。



学校を取り巻く、応援団としての個人や関係団体をステークホルダーと言います。ステークホルダーは利害関係者と日本語に訳されますが、学校に協力している団体同士や学校と協力団体が知り合って繋がることで、その協力団体にも利点・利益がもたらされることが少なくありません。

例えば、町会とおやじの会が繋がってどちらの活動も活性化していくとか、大学等の研究機関が繋がって共同研究に発展するとか、可能性は様々あります。また、町会の美化運動に児童・生徒が参加するとか、避難所運営に中学生が協力するとか、学校から逆方向に協力することもスクール・コミュニティといえます。

今後は、コミュニティ・スクールが、横のつながりや学校から逆方向のつながりなど、さまざまなスクール・コミュニティに発展し、Win-Winの関係、三方よしの関係になるということが期待されます。具体的な取組みは、その都度紹介していきます。

コミュニティ・スクールのステークホルダーが繋がりお互いにメリットを得る

